

平成 29 年度

第5回千歳市民討議会実施報告書

～みんなで話そう！ちとせの未来～



一般社団法人千歳青年会議所

千歳市民討議会実行委員会

【目 次】

1. はじめに

- (1) 実行委員長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (2) 市民討議会とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

2. 平成29年度 Voice of ちとせ 「第5回千歳市民討議会」の実施について

- (1) 市民討議会実施に至る背景（プロセス）・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (2) 千歳市民討議会実行委員会による企画・運営・・・・・・・・・・・・ 3
- (3) Voice of ちとせ「第5回千歳市民討議会」実施の目的・・・・・・・・ 5
- (4) Voice of ちとせ「第5回千歳市民討議会」概要・・・・・・・・・・・・ 5
- (5) 第5回千歳市民討議会 討議方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- (6) 当日のタイムスケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- (7) 討議内容と流れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- (8) 各グループで出された意見や討議内容・・・・・・・・・・・・・・ 10

3. 千歳市民討議会の提言

- (1) 第5回千歳市民討議会投票結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
- (2) 提言・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
- (3) 討議会アンケート結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

4. 資料

- (1) 第5回千歳市民討議会ポスター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
- (2) ポスター掲示依頼文・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
- (3) 市民討議会開催のご案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
- (4) 参加決定通知書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
- (5) 広報掲載記事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
- (6) 当日の様子・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
- (7) 千歳市民討議会実行委員会諸会議一覧・・・・・・・・・・・・・・ 43

5. おわりに

- 一般社団法人千歳青年会議所 市民のまちづくり推進委員会委員長 挨拶・・・・ 46

1. はじめに

(1) 実行委員長挨拶

千歳市民討議会報告書を発刊するにあたり実行委員会を代表いたしましてご挨拶申し上げます。

2013年に第1回目を開催した千歳市民討議会は本年で5回目の開催となりました。昨年より一般社団法人千歳青年会議所と市民の有志により組織された千歳市民討議会実行委員会により運営しております。事業本来の目的であります市民のまちづくりに対する当事者意識の醸成という点におきましても、本討議会にご参加いただいた皆様が自らの住み暮らすまちを良くしていきたいと願い行動する機会となったと確信しております。

末筆となりましたが、本討議会開催に際しましてご参加いただいた皆様、並びに関係各所の皆様にご支援ご協力を賜りましたことに深く感謝を申し上げますと共に、本報告書が市民によるまちづくりの推進に活用されていくことをご祈念し、実行委員長挨拶とさせていただきます。

千歳市民討議会実行委員会 実行委員長
一般社団法人千歳青年会議所 理事長
三澤 計史

(2) 市民討議会とは

市民討議会とは、無作為抽出による市民が集まり、まちづくりに関するテーマについて情報提供を受けた上で話し合い、そこで出された意見を集約してまちづくりに活かす市民参加手法のひとつです。ドイツの住民自治手法である「プラーヌクスツェレ」を日本風にアレンジして取り入れたものであり、日本青年会議所が日本に紹介し、2005年に東京で実施されて以来、各地に広まっています。

各種の審議会や公聴会、タウンミーティング等の市民参加手法では、行政が出席依頼した各種団体や自治会の役員など、いつも決まった顔ぶれである場合が多いのに対し、市民討議会は、サラリーマンや主婦、学生など意見を表明したくてもなかなか出来ない人たち(サイレントマジョリティ)の意見を吸い上げることができます。

そこで、普段声を発する機会の少ない市民が千歳のまちづくりに参加するきっかけをつくり、市民参加・市民協働によるまちづくりを推進することを目的として、千歳青年会議所は、千歳市民討議会を開催することとしました。

※『プラーヌクスツェレ』の定義

無作為抽出で選ばれ、限られた期間、有償で、日々の労働から解放され進行役のアシストを受けつつ、事前に与えられた解決可能な計画に関する課題に取り組む市民グループである。

2. 平成29年度 Voice of ちとせ

「第5回千歳市民討議会」の実施について

(1) 市民討議会実施に至る背景（プロセス）

～市民主導のまちづくりへ向けて～

近年、真に自立したまちの構築を掲げ、中央集権型社会から地方分権型社会へと移行しつつある中、これら地方自治をめぐる動きに対して、基礎自治体である市町村は、限られた財源で多くの課題に取り組まなければならないため、厳しい行政運営を迫られています。このような状況である今こそ、地方自治体の独創的なあり方が問われ、独自財源の確保、地域に適した自治の手法の構築が最重要課題となっています。また、行政サービスの受け手であった住民の意識や行動も問われています。

今日、「市民参加」「市民協働」がいたるところの自治体で言われていますが「民主主義」が市民、住民を主人公としているため、「市民の声を聞く」とは当たり前のことですが、現在は住民の声を施策に活かすため、市民アンケートやヒアリング、政策公募、タウンミーティングや市民会議などに取り組んでいます。しかし、これらに参加する住民は、それぞれの分野に興味をもち、時間的にも比較的余裕のある限られた住民が多いことが想定され、限られた参加者により意見が集約されるのではないかとの懸念もあります。そこで、社会全体の市民、無関心層やサイレントマジョリティー(物言わぬ大衆)といった多くの市民を取り込んだ真の市民自治による協働のまちづくりをさらに推進していくため、市民参加の新たな手法に取り組んでいく必要があると考えます。

(2) 千歳市民討議会実行委員会による企画・運営

目的

千歳市民自らが、市民討議会を通じて、まちづくりに関心の無い人、もしくは関わりを持つことが出来なかった市民へまちづくりの機会を創出し、自身の住む地域を良くするという当事者意識を醸成し「市民主導型社会」を構築し、明るい豊かなまち千歳の創造のため、千歳市民討議会の企画・実施・運営を目的とする。

実行委員会メンバー構成

千歳市民討議会を運営するにあたり、千歳青年会議所のメンバーと千歳市民討議会に参加された市民の有志によって構成されます。

実行委員長には千歳青年会議所理事長が就任し、副実行委員長に千歳市民からの有志2名と千歳青年会議所の所管する理事が1名配置することとなっています。

2017年度 千歳市民討議会実行委員会

No.	役職	所属	名前
1	広報渉外部統括	千歳JC副理事長	曙 嘉輝
2	副実行委員長/予算部	市民	石井 潤
3	事務局	市民	石川 久雄
4	事業部統括	千歳JC	太田 憲之
5	広報渉外部	千歳JC	及川 進
6	広報渉外部	市民	川口 敏夫
7	副実行委員長/事業部	千歳JC担当委員長	木村 利貴
8	広報渉外部	市民	榊原 達也
9	事務局	市民	佐々木 浩
10	副実行委員長/広報渉外部	市民	佐藤 元康
11	事業部	市民	末村 友幸
12	予算部	市民	高遠 修一
13	事業部	千歳JC	高橋 卓也
14	事業部	市民	中村 千江子
15	監査役	千歳JC	中山 千太郎
16	監査役	市民	野長瀬 妙子
17	予算部	千歳JC	登立 太郎
18	事務局次長	市民	秦 由基
19	事務局長	千歳JC	藤野 マキ
20	広報渉外部	市民	松倉 みか
21	予算部	市民	松田 隼人
22	実行委員長/統括	千歳JC理事長	三澤 計史
23	事業部	市民	吉川 政二
24	予算部統括	千歳JC	渡部 順大

※五十音順

※JC=千歳青年会議所

(3) Voice of ちとせ「第5回千歳市民討議会」実施の目的

千歳市は市民の平均年齢が若く、北海道内においても人口が増加し発展し続けている数少ないまちです。しかし、市民アンケートの調査結果からもわかるように、多くの市民が自ら住まうまちに対する関心が薄く、まちづくりを自らの事と考える意識は決して高くありません。次世代が志を高く持ちまちに対し愛着を持たなければ、そのまちは衰退の道をたどってしまいます。そうならないために千歳市民のまちに対する意識を高めるとともに、志高い市民を多くしていくことが更なるまちの発展のために必要な第一歩となります。

そのためには、若い世代をはじめとする多くの市民が明るい未来を想像し、今、自らが向き合うべき問題に対し世代を超えて積極的に意見を語り合う事でまちづくりへの意識を向上させることが必要です。

(4) Voice of ちとせ 「第5回千歳市民討議会」概要

- 事業名 Voice of ちとせ 第5回千歳市民討議会
「～みんなで話そう！ちとせの未来～」
- 運営形態 主催：千歳市民討議会実行委員会
- 開催場所 千歳公民館 2階大集会室
- 参加者 43人（18歳以上の一般市民）
- 参加者抽出 18歳以上の男女2,500人を無作為抽出し、参加依頼書を送付。
65人から応募があり、65人の方に参加通知書を送付しました。
(事前連絡による欠席 10名)
(当日欠席 12名)
(追加参加 5名)
(途中より退席 0名)
- 討議テーマ
 - ・教育の今を考える
 - ・地域、家庭、学校それぞれに今何ができるか
- 情報提供 千歳市学力向上検討委員会
千歳市子ども会育成連合会
- 討議進行 【少人数のワークショップ形式によるグループ討議】
 - ① 参加者を討議グループ（1グループにつき5～6人のグループ）に分けさせて頂きました。
 - ② グループごとに、テーマに関するグループディスカッションを行い、グループとしての意見を集約致しました。
 - ③ グループで集約した意見を発表したのち、もっとも賛同できる意見に対して参加者に投票をして頂きました。

(5) Voice of ちとせ 「第5回千歳市民討議会」の討議方法

～プランクツェレとの比較で～

第5回千歳市民討議会は、ドイツの市民参加の手法である「プランクツェレ（注）」に学びながらも、千歳市で実施するにあたり、千歳市民討議会実行委員会にて独自に再構築し、様々な創意工夫を行いました。

～話し合いの方法～

話し合いは、プランクツェレとほぼ同様の手法で行われました。その特徴の第1点目は、1グループ5人～6人単位で、全部で9グループが同時に話し合いを進めたことです。少人数での話し合いでは、グループ内全ての人が発言する機会があります。

第2点目は、各グループの代表により発表が行われ、全体の意見の傾向を見るために、グループごとにまとめた個々の意見に対して、参加者が投票を行うことで、参加者全体の意見の共有に努めます。

(注)：解説：プランクツェレ とは・・・

プランクツェレ（独：Planungszelle：計画細胞）は、ペーター・C・ディーネル ドイツ・ヴパタル大学名誉教授により1970年代に考案された市民参加の手法です。ドイツでは、1990年のドイツ統一後、地方公共団体において住民投票制度が導入されていたことに伴い、直接民主主義に対する認識が高まりました。このような潮流の中で、市民参加の手法の一つとしてプランクツェレが注目されました。現在はスペインやオランダなどでも取り組みがなされています。他の市民参加の手法に比べてコストがかかる点と開催の準備や最終報告に時間がかかる点に問題があるものの、サイレントマジョリティと呼ばれる一般の市民の声なき声を抽出する方法としてきわめて有効であると評価されています。

★定義

『プランクツェレは、無作為抽出で選ばれ、限られた期間、有償で、日々の労働から解放され、進行役のアシストを受けつつ、事前に与えられた解決可能な計画に関する課題に取り組む市民グループである』～「プランクツェレ（ディーネル教授 著）」より～

★主な特徴（ドイツ型）

- 1 話し合いへの参加者を無作為抽出で選ぶ。
- 2 参加者に謝礼を払う。
- 3 参加者だけで話し合いを行い、全体で投票を行う。
- 4 各話し合いの前に現状や課題などの情報提供を行う。
- 5 まとまった結果を市民答申として公表する。

(6) 当日のタイムスケジュール

Voice of ちとせ 第5回千歳市民討議会

テーマ： 「～みんなで話そう！ちとせの未来～」

会場： 千歳公民館 2階 大集会室

時 間	内 容
09:30	受付開始
10:00	開会宣言
10:01	主催者挨拶
10:06	討議進行の説明
10:00	情報提供 【子どもたちの未来～教育について～】 ‘学力の観点から ‘ 情報提供者：千歳市学力向上検討委員会 佐藤 貢 様 ‘モラルと精神面から ‘ 情報提供者：千歳市子ども育成会連合会 四方 信次 様 石狩教育局生涯学習課 阿部 隆之 様
10:40	休憩
10:50	討議開始
12:10	中間発表
12:30	昼食休憩
13:30	情報提供者による感想
13:40	討議
15:00	休憩
15:10	発表
15:50	投票
16:05	アンケート記入
16:10	お礼の言葉
16:15	結果発表
16:20	記念撮影
16:30	解散

(7) 討議内容の流れ

【討議テーマ】

子どもたちの未来について

1、情報提供

基礎知識のない方でも公平に討議に参加できるように討議する内容に対して、現状の状況や仕組みなど討議を進めていく為に必要な情報を説明いたします。

2、討議

① 自己紹介

テーブル内で簡単な自己紹介を各自行っていただきます。

② 討議、話し合い、付箋への書き出し

討議、話し合いをしながら、できるだけたくさんの建設的なアイデアや意見を付箋へ書き出し、討議ボードへ貼り付けていきます。

③ 書き出した付箋のグループ分け、提案内容のまとめ

書き出した内容を似たものに分けていきます、分けられたアイデアをより良い課題解決へ向けて、テーブルで討議していきます。討議のアイデアを3つに集約し、わかりやすく討議ボードのまとめ欄へ記入していきます。

3、テーブル発表

テーブル内で、はじめに役割を決定し、決定した発表者によってテーブルごとにまとめた3つの意見を順にテーブル発表を行う。

4、全体投票

全ての発表を終えた後、討議ボードを前面に貼りだし、他のテーブルも含め全てのまとめの中から、自分が良いと思ったアイデアに各自が投票する。

※一人持ち票を5票とし、一つのまとめに対して最大3票まで投票出来ます。

以上ここまでのサイクルを一つの討議とします。

【討議をしていくためのルール】

- ① 自分だけが話すのではなく、周りの意見もちゃんと最後まで聞くこと。
- ② 周りで出た意見や質問やアイデアに対して頭から否定するようなことは絶対にしないこと。
- ③ 周りや、行政、その他団体等関係者に対して中傷するような言動は絶対にしないこと。
- ④ 誰かに「要求するだけ」といったようなものではなく、討議のテーマに対して、あくまで建設的な考え、意見やアイデアを出していくように心がけること。
- ⑤ 討議の最中は楽しい雰囲気大切にすること。

(8) 各グループで出された意見や討議の内容

討議テーマ 子供たちの未来について

テーマ 「子供たちの未来について」		Aグループ
<ul style="list-style-type: none"> ・先日祝梅小学校の運動会があったが近辺に聞こえないように運動会を進めていた、もっと音を出してやったほうが良い ・大和の杜団地の子供たちは自治会の行事にたくさん参加している。 ・大和の杜団地の子供たちは必ずおはよう、こんにちは、こんばんはをする。 ・大和の杜団地の子供たちは盆踊りに参加したり、バス旅行にも参加して大きくなっています。 ・年長者との接する場を作る。 ・大和の杜団地の子供たちは、元気にゴミ拾いもして公園はきれいになっています。 ・小学校1年生から少年野球に参加させる。 ・大人が子供に挨拶をする。 ・運動する ・小学生中学生に稲の育てかた米の作り方を教える。 ・子供は体が大きくても小人。 ・自然に接する機会がない。 ・会議が必要。 ・フリースクールに参加させる。 ・町内会行事（青少年部計画）に参加せる。 ・教育方針を変えることも必要かもしれないが、親自身の意識を変えることも必要だと思う。 ・子供は宝である、日本を背負っていく大切な宝である。 ・子供目線で子供に寄り添う。 ・大人の意識を変える。 ・感謝の気持ちを持たせる。 ・町内どころか家庭内での子供との関わりが希薄になってきている。 		
		投票欄
まとめ（地域）	町内会主催で物づくり体験を行う。	12
まとめ（家庭）	親子のコミュニケーション笑いが大切。	7
まとめ（学校）	学校と町内会と連携して子供たちをサポートする。	9
残したい意見	会話とあいさつ。	

テーマ 「子供たちの未来について」		Bグループ
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での食事はみんなと一緒にが良いと思います。 ・会話のできる環境。 ・コンピューターゲームではなくトランプとかのゲーム ・家庭におけるスマホのやらせる時間を子供と決める。 ・両親が仲良くすること。 ・親子の会話。 ・学力を塾でつけるのではなく学校で、塾のように上手にやる技術を先生方に求める。 ・学校での体験学習を増やすこと。 ・学校行事への地域の参加。 ・子供世代との意見がかみ合わない。余計なことは助言できない。 ・朝のあいさつ大人の人との ・子供たちと遊んであげることが出来る大人がいること。 ・ガキ大将のいる地域にしていくこと。 ・悪いこと間違ったことがあったら地域でしかることが出来ること。 ・子供たちへの挨拶をしていくこと ・子供達への安心感を与えることが出来ること。 ・子供への声かけ運動。 ・地域活動への子供の参加 ・地域で見守ること。 ・挨拶の励行による信頼感。 ・地域のコミセンを積極的に利用する。 ・学校と家庭の連絡をもう少し蜜にする。 ・児童数減で統合 ・町内会の児童数が減少。地域としてやること人員増。魅力」ある行事。 ・町内会と小・中学生の交流を今まで以上に実施すること 		
		投票欄
まとめ（地域）	① 大人からも挨拶することで信頼感を築く ②地域での見守りと注意喚起 ③地域コミュニティをさらに活用する	5
まとめ（家庭）	①家庭での時間を多く持つ ②親子の絆を強くする（良好な夫婦関係）	5
まとめ（学校）	*学校の上手な使い方 ①行事への地域の参加 ②体験学習を増やす（認知症体験等） ③教師の上手な教え方	6
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・子供（大人も）に悪いことは悪いと言える大人になりたい ・塾に行かなくてもいい授業をお願いしたい。 	

テーマ 「子供たちの未来について」		Cグループ
<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームやスマホもつのは仕方ない。メリハリを付けるルール作り。 ・心豊かな子供達がたくさんいる未来。 ・子供達が将来に目標を持つこと、夢を持つ。 ・ゆとりからハードになった。 ・子供だけではなく大人が忙しい大人の支援。 ・英語が必修 道徳が教科に ・子供だけではなく大人もかかわり外へ ・目的を持っている子供は集中できる ・素直な心を育む ・ご近所同志のコミュニティを作っておく。 ・地域ぐるみで支援必要 ・子供も見守れる大人が減っている気がする。 ・人の痛みがわかる。 ・地域を把握する必要がある。 ・把握しづらい時代 ・朝ごはんをたべていきなさいなど ・子供達同志で心が開かれていない。 ・声かけ子供への心を開く方法として助けあい ・お腹いっぱいにさせてほおっておけば子は育つ ・何も持たずに子供だけで遊ばせて親を楽 ・本を読ませる活字になれさせる。 ・行事などを回覧板など 		
		投票欄
まとめ（地域）	①ボランティア学生ポイント制度 ②異年齢のパークゴルフ大会 ③リーダー育成地域で若い人でも大人でも ③働いている親御様を助けるための子供あずかり所ボランティア ④ボランティア増員 ⑤飲みニケーションで地域コミュニティの強化	6
まとめ（家庭）	①地域ボランティアに参加させる ②親がしつけを学校にまかせない ③ゲームばかりのせいではない集中力を身につけさせる。④大人が子供のコミュニケーションをそがいている。⑤親も先生の味方になる。	4
まとめ（学校）	放課後で体験事業先生以外の人に	6
残したい意見	・とにかく外へだす。まず第一歩！！	

テーマ 「子供たちの未来について」

Dグループ

【地域と学校のつながりについて】・地域の方も学校参観できると良い →参観できる学校もあるが周知が必要かも・挨拶は基本なので、地域で交わしていきたい

【夢を持って欲しい】・様々なものに興味を持ってほしい。地域の行事などにも参加してほしい・児童館の利用が周知されていないことが多い・夢を持たせるには大人は何ができるか？【いじめについて】・自分の気持ちを隠してしまう → なかなか伝えられない ⇐ 周りが気づいてあげる・学校の対応で良くなった（対応の仕方により、不登校のままの子がいる）・子供が困った時の対応 →相談する・本を読む・方向性を示してあげる・様々な事を経験してみる

【スマホについて】・使い方に注意必要

【体罰について】・昔は先生が愛情をもって叱っていると親が言っていた・今は親がクレームをつけてくる

例：友達親子、家庭の中での順番・序列が無い

【食生活について】・「いただきます」を言う意味を知らない親が子供を育てている現実がある【自立】・親から離れたところで育つのが大切

【障害ある子に対する先生や親の対応について】・行政はしていると思う。地域や周りの見守りが必要かも

		投票欄
まとめ（地域）	基本的な「挨拶」を交わす・地域の方にも学校参観ができるように周知	9
まとめ（家庭）	・「いじめ」に気が付いた時の学校と家庭の連携が大切・時代と共に体罰の形が変わってきている	9
まとめ（学校）	・スマホの使い方のルールを決める・朝食を食べる大切さを伝えていく	4
残したい意見	・時代や考え方が変わっても「夢」をもって子供を育ていける環境を作っていきたい	

テーマ 「子供たちの未来について」		Eグループ
<ul style="list-style-type: none"> ・AM ・大人の意識改革 ・環境に左右されない子供会活動 ・子供達との交流の機会を大人が増やしてあげる ・子供食事クラブ充実 ・家庭で体験する機会を増やす。キャンプ ・子供に声かけ？勇気をもって子供と接する。 ・両親が責任をもって子育てする。 ・子供食堂やフードパークなどの活動を効果的に市民に知らせる。 ・朝食を必ずとらせる。 ・学校の備品を地域活動で使用できるようにする。 ・体験学習での失敗で中止 ・非行、いじめ防止に地域の人材活用（教室の後ろで監視） ・姉妹都市以外の学校との交流（市町村連携）を進めるべき。 ・教師の父兄対応にアドバイザーとして地域の人材活用 ・地域の人材（年配者）を教育にすべき。 		
		投票欄
まとめ（地域）	<p>子供たちの教育にプラスになりそうな事に、自発的・積極的に関わる勇気と行動する。 ・おじちゃん、おばあちゃんも知恵や知識、昔の遊びなど、地域の人材を教育現地で活用する ・子供に声かけ、一緒に遊ぶなど、昔のように近所つき合いを積極的にする。 ・地域全体で子育てを見守る。</p>	6
まとめ（家庭）	<p>家庭単位でも、勉強以外の体験プログラムを積極的に取り入れる。 ・料理を手伝わせる、キャンプやハイキングなど、家族交流が深まる行動をふやす。 ・親子の会話する機会を増やす。（日々の食事もちょうんと作って、皆で食べる）</p>	4
まとめ（学校）	<p>学問としての勉強だけではなく、社会活動や文化活動、遊びの体験する機会を増やす。 ・姉妹都市など以外でも、学校同志や地域との交流を進めるべき。 ・「失敗したからすぐやめる」のではなく、改善しながら継続させる努力をする。</p>	5
残したい意見	<p>・子育てに活用できるプログラムを市民全員に知ってもらうための広報をもっと充実させる。（広報 現状は、あまり知られていない。）</p>	

テーマ 「子供たちの未来について」		F グループ
<p>〈体力〉 子供の数 体力/希望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択肢・個性を伸ばす・多様性 育児放棄・体力 ・公園で遊ぶ時間が少なく集まってもゲームをやっている ・大学生の力・自己責任と性教育 <p>〈家庭〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育費・男と女・幼児教育・育休 イクメン・学習塾に行ける人とそうでない人で学力に差 ・イクボス？ 孫・父親の関与・育児ノイローゼ ・家庭学習がクラスによりマチマチ 標準化を図る <p>〈学校〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの食育 ファストフードからの離脱・学校の先生・目標 道内実績の思考 ・いじめ 体罰 ・学校のクラブ活動を先生にまかせない・生存を考えられる子供を育てる <p>〈地域〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ママ友・地域で育てる 団地で・子ども食堂を増やす・先生の負担を減らす ・健全育成・不審者 性犯罪 子ども 110 番・子ども食堂現実？ ・子どもゲーム時間・無料で遊ぶところの充実・国際化・コミュニケーション 		
		投票欄
まとめ（地域）	地域での見守り 〈地域力での弱い所は学校の校庭使用〉	5
まとめ（家庭）	義務教育の完全無償化(医療費 塾含む) スポーツなど諸経費無償化	19
まとめ（学校）	先生の負担軽減 教育指導者の参入 (部活動 スキー スケート指導など)	8
残したい意見	いじめの対処法を学ぶ 子供から大人まで	

テーマ 「子供たちの未来について」		Gグループ
<p>【地域】</p> <p>行動の拡大化・見守隊の人たちがもっと増えるといいな・安全・安心 地域連携 もっとお年寄りとのふれあいを増やしてほしいです 市全体で同一の取り組みをする・個々の地域の活動とは別に 安全・安心であそべる場所があるといいね・地域の目はあったらいいな</p> <p>【行政】</p> <p>夢をもてるといいな・中学まで医療費補助ほしいな 生活困窮者の教育</p> <p>【家庭】</p> <p>子供を見守る環境の整備 科技大 リハビリテーション学院等 学生の力を活かす 手本となる大人の存在が増えるといいな 生き方。考え方。 あいさつ 返事 ありがとう ごめんなさいができる子供たちいいな 障害との交流の場 自分と違うものを認める 障害をもっている教師 先生 互認互助・差別のない地域作り・学ぶのにちょうど良い人数で学べたらいいな 近所の交流・障害のある子が地域の学校に通えたらいいな 体験 ふれあい 相互理解 集団で感動体験の共有をする機会があればいいな 国際的な力を持っている カベを無くすよりあえてカベを作っていく 道徳心と理解 異文化とふれあう体験がもっと欲しい アラスカ 指宿など・携帯電話 ゲーム ちとせブランド・グローバルな見識を身につける 異文化交流 外国人と</p>		
		投票欄
まとめ（地域）	安全・安心で生活できるよう地域で目を光らせる	10
まとめ（家庭）	しつけと家庭教育力の向上	9
まとめ（学校）	互認互助	10
残したい意見	異文化交流の活性化 行政の協力	

テーマ 「子供たちの未来について」		Hグループ
<p>キッズニアみたいな施設をつくる 子供が正しく成長できるよう正しい事はほめる 悪い時は指導する大人 見て見ぬふりをしないための指定 千歳市は子供を育てやすい環境と聞いたことがありますがまったくわからない せっかく良い千歳市の取り組み 市民に周知できていない 子供たちが千歳で働く場所を増やす 使われていない土地を安く使える特区のような制度 こども会をつくる 少年団と子供会の連携 キャンプ祭りなど 子供市民討議会 英語能力や社会適応能力を伸ばす環境の拡大とそれを千歳市で活用 活かせる職場の拡大 千歳市から世界で戦える子供を出すため、スポーツ、その他の素晴らしい指導者を集める 親に対する教育 保育園、幼稚園での体験活動をふやす 千歳小一サンドレイク小 交換取り組みを 他の小中学校へも導入 学校の先生を見て子供が成長するので先生に対する教育市民との交流知識を増やす研修 中学生のインターンシップ 小中学生の職業適性検査の実施 意識して自由にできる場面をつくる 市役所の情報が伝わりづらい お手本になる大人</p>		
		投票欄
まとめ（地域）	老人会・町内会・少年団で連携してサポート体制	3
まとめ（家庭）	家庭内教育を先生と共に・子供たちが夢を見られる千歳へ	1 3
まとめ（学校）	親との協力体制の強化・指導者招致	1
残したい意見	キッズニア インターンシップ 能力適正判断 活性化	

テーマ 「子供たちの未来について」		I グループ
<p>・色々意見交換ができて楽しかった 渡辺・別のテーマで参加したい (49%) 水田・学校は選挙の時しかいかなくなりました 書記 佐藤・コーディネート楽でした。楽しかった。みなさんありがとうございます 榎原・楽しく討議でき大変勉強になりました 稲船・子供に教育するために我々大人がまず、様々なことを学ぶ必要があると思った 安部・こういう討議を子供にもさせるべき・地域で子供を見守る・近所付き合いは少ない</p> <p>・寺小屋をつくる 千歳の良い所をもっと体験した方が良い・近所づきあいの活性化 子供の見守りにもつながる</p> <p>・『危険』とか多い 危ないことをして少し痛い目みて学ぶことも大事かと・もっと外で遊んだほうが良い・大人が先に挨拶をする 外で話をする人が少ない・本を読む子が少ない 子供に勉強させるのではなく、親と一緒にする。朝とか。・物を大切にすることを教える・学校側がPTA に対して弱すぎる・昔は学校に来ない子はいなかった・野外活動を増やす。運動、球場、サッカー、野球、スケート、雪上の遊び・学校プールが無い・せっかく千歳にいるので外国人との触れあう機会を増やす。・不登校児への対応について・親が出すぎ (過保護)</p> <p>・習い事が多すぎて遊びの時間が少ない・英語力。役立つ英語教育。</p> <p>・学校の事はわからない</p> <p>【地域】・大人が環境を作る ・井戸端会議的に外に出て子供たちを見守る ・寺小屋的などころで楽しく勉強できる場所づくり・千歳の良い所を子供に教える</p> <p>【家庭】・親と一緒に勉強したり本を読んだりする ・過保護にしない ・失敗も経験させる ・もっと外で遊ばせる</p> <p>【学校】・教科以外の時間を増やす ・子供に真剣に向き合っている先生をみんなで認める</p> <p>・テスト英語ではなくコミュニケーション英語を増やす</p>		
		投票欄
まとめ (地域)	大人が環境を作る	7
まとめ (家庭)	親が環境を作る	6
まとめ (学校)	大人と子供と先生と一緒に環境を作る	5
残したい意見	わたなべさんが子供に (手作りおもちゃ教室) を開く。“IQ” より “EQ” を鍛える	

3、千歳市民討議会提言

(1) 千歳市民討議会実行委員会での調査・研究

討議会投票結果と提言

順位	まとめ	項目	投票数
1	義務教育の完全無償化(医療費 塾含む) スポーツなどの諸経費無償化	家庭	19 票
2	社会適応 子供達が夢を見られる千歳 親との密接な関係	家庭	13 票
3	町内会主催でものづくり体験を行う	地域	12 票
4	安全・安心で生活できるよう地域で目を光らせる	地域	10 票
4	互認互助	家庭	10 票
6	学校と町内会が連携して子供達をサポートする	学校	9 票
6	基本的な「挨拶」を交わす ・地域の方にも学校参観ができるように周知	地域	9 票
6	・「いじめ」に気がついた時の学校と家庭の連携が大切 料理を・時代とともに体罰の形が変わってきている	学校	9 票
6	しつけと家庭教育力の向上	家庭	9 票
10	先生の負担軽減 教育指導者の導入(部活動 スキー スケート指導等)	学校	8 票
11	親子のコミュニケーション笑いが大切	家庭	7 票
11	大人が環境を作る	地域	7 票
13	学校の上手な使い方 ①地域行事への参加 ②体験学習を増やす(認知症体験等) ③教師の上手な教え方	家庭	6 票
13	①ボランティア学生ポイント制度 ②異年齢のパークゴルフ大会 ③リーダー育成 地域で若い人でも大人でも ④働いている親御様を助けるための子供預かり所ボランティア ⑤ボランティア増員 ⑥飲みニケーションで地域コミュニティーの強化	地域	6 票
13	放課後で体験授業 先生以外の人に	学校	6 票
13	・子供達の教育のプラスになりそうな事に、自発的・積極的に関わる勇気と行動する ・おじいちゃんおばあちゃんも知恵や知識・昔の遊びなど、地域の人材を教育現場で活用する ・子供に声掛けや一緒に遊ぶなど、昔の様に近所付き合いを積極的にする ・地域全体で子育てを見守る	地域	6 票
13	親が環境を作る	家庭	6 票
18	①大人からも挨拶することで信頼感を築く ②地域での見守りと注意喚起 ③地域コミュニティを更に活用する	地域	5 票
18	①家庭での時間を多く持つ ②親子の絆を強くする(良好な夫婦関係)	家庭	5 票
18	・学問としての勉強だけではなく、社会活動や文化活動、遊びの体験する機械を増やす ・姉妹都市以外でも、学校同士や地域との交流を進めるべき ・「失敗したからすぐやめる」のではなく、改善しながら継続させる努力をする	学校	5 票
18	地域での見守り(地域力で弱い所は学校の校庭使用)	地域	5 票
18	大人と子供と先生と一緒に環境を作る	学校	5 票

23	①地域ボランティアに参加させる ②親がしつけを学校に任せない ③ゲームばかりのせいではない集中力を身につけさせる ④大人が子供のコミュニケーションを阻害している ⑤親も先生の味方になる	家庭	4票
23	・スマホの使い方のルールを決める ・朝食を食べる大切さを伝えていく	学校	4票
23	家庭単位でも勉強以外の体験プログラムを積極的に取り入れる ・料理を手伝わせる。キャンプやハイキングなど、家庭交流が深まる行動を増やす ・親子の会話する機会を増やす(日々の食事もちょうど作って、みんなで食べる)	家庭	4票
26	能力を活用して働ける千歳の環境づくり(特区等) ・老人会 町内会 少年団等のサポートを借りる	地域	3票
27	英語能力、能力拡大、スポーツ指導者の招致 ・親と先生の連携強化	学校	1票

【 提 言 】

●地域において

挨拶や率先して地域活動に参加する所謂モラル面の教育において、子どもたちの間だけでなく、親世代や親の親世代など大人と子どもたちが対面して接する事が必要となってきます。町内会での取り組みとして、地域と子どもたちとの交流が大切であり、一例として、昔のおもちゃ作り等をきっかけに幅広い世代との交流をはかることにより、世代間を越えたつながりを持ち、子供たちの成長につながるものと考えます。

●家庭において

収入の格差が教育機会の格差につながるおそれがあると文部科学省の調査結果がありますが、それは義務教育の完全無償化(医療費、塾含む)が、格差の軽減につながると思います。子どもたちの将来への可能性を伸ばすため、いろいろな事を体験する機会を提供していく必要があります。例えば、単純な金銭の補助ではなく、塾や文化活動、スポーツの習い事のみ利用できる教育クーポンを発行し、子どもたちの特徴に合わせた選択ができるよう幅を持たせた教育機会を提供できると考えます。

●学校において

学校は学習するだけの場所ではなく、友達との交流は勿論、地域や家庭との繋がりが大切です。それは地域や家庭でも同様ですが、特に学校の先生との連携が大切であると考えます。また、差別のない社会を作るために、障がいのある人もない人も、自分とは違うお互いを理解し認め合い、その上でお互い助け合う「互認互助」の精神を大切にし、交流を通じていじめや差別のない地域づくりをしていくことが必要です。

●まとめ

地域・家庭・学校それぞれが連携して、子供の教育を行うことが望ましく、そのためには各地域・町内会単位で各学校とのコミュニティを形成することが必要ではないでしょうか。

また、義務教育の無償化は現実的には難しいので、まずは少なくとも子供たちの学力・体力に必要な「朝食をとる施設」を増設していただくことが望ましいと考えます。

また、無償の塾を地域で開設する、例えば退職した教員OBや大学生等の協力等によるボランティアでの講師、または市の助成金の活用で子供たちに平等に学ぶ機会を提供することで、千歳市全体の学力向上に繋がるのではないかと考えます。

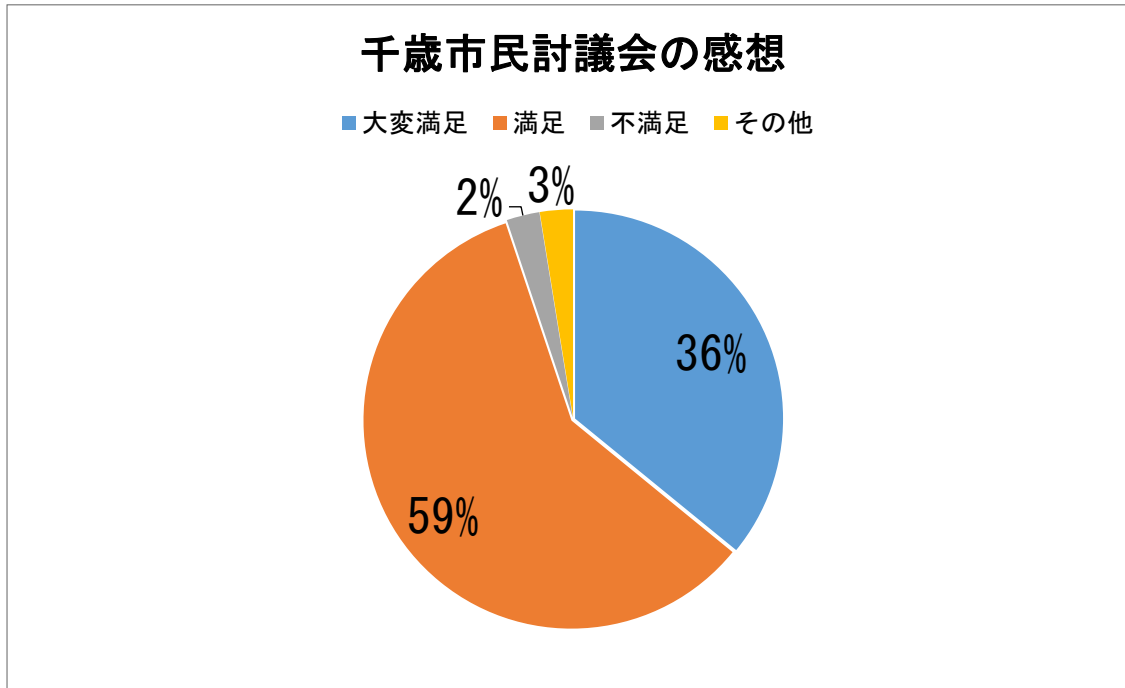
(3) 今回の市民討議会の検証と考察

千歳市民討議会アンケート結果

第5回千歳市民討議会 アンケート(対外対象者)

問1、千歳市民討議会へ参加された感想をお聞かせ下さい。

□大変満足 14人 □満足 23人 □不満足 1人 □その他 1人

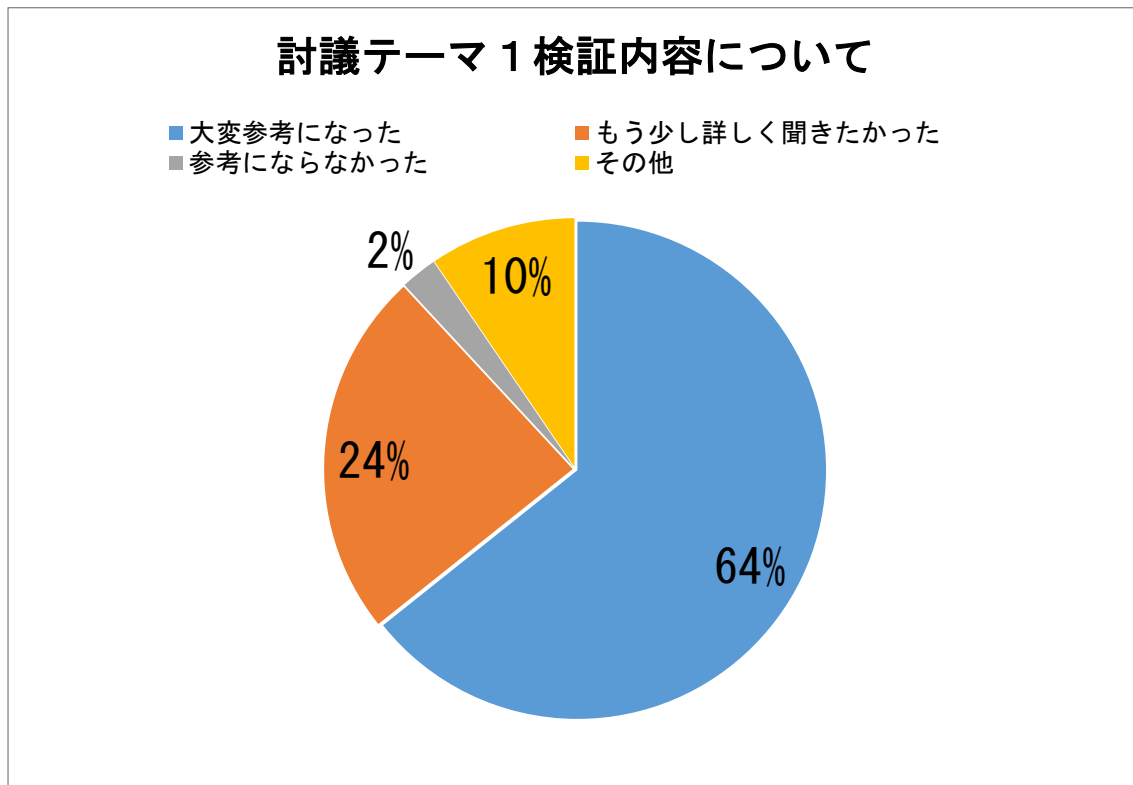


その他

- ・色々な意見を聞いて満足だが、時間が長すぎる
- ・テーマ「千歳市における子供たちの教育の現状」と「みんなで話そう千歳の未来」とがあまり結びついた会議論にならなかった

問2、情報提供について

□大変参考になった 27人 □もう少し詳しく聞きたかった 10人 □参考にならなかった 1人
□その他 4人



その他

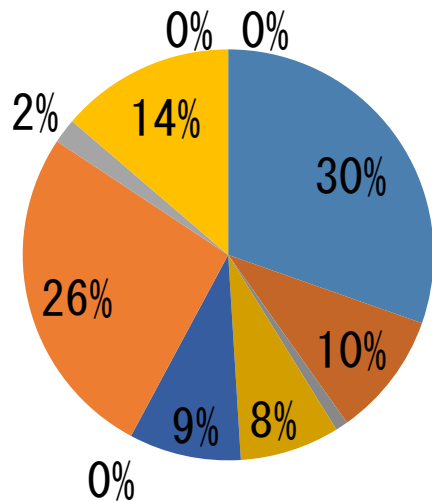
- ・ 大変に参考になったがもう少し短いと良かった
- ・ もう少し完結だと頭に入ってきたかも
- ・ 少し長かったと思います。説明① → 話し合い → 説明② だともう少し聞きやすかったと思います
- ・ 参考になったが、もう少し短くまとめて欲しかった。討議時間を圧迫している。

問3、話し合いの方法について(複数回答可)

- 話しやすい方法だった 31人 □最初はなかなか言葉が出にくかった 10人
□話しづらかった 1人 □時間が短かった 8人 □時間はちょうど良かった 9人
□時間が長かった 0人 □テーブルの人数が多いと感じた 0人
□テーブルの人数はちょうど良かった 27人 □テーブルの人数が少ないと感じた 2人
□テーブルコーディネートがスムーズだった 14人 □テーブルコーディネートカに問題があった 0人
□その他 0人

話し合いの方法について

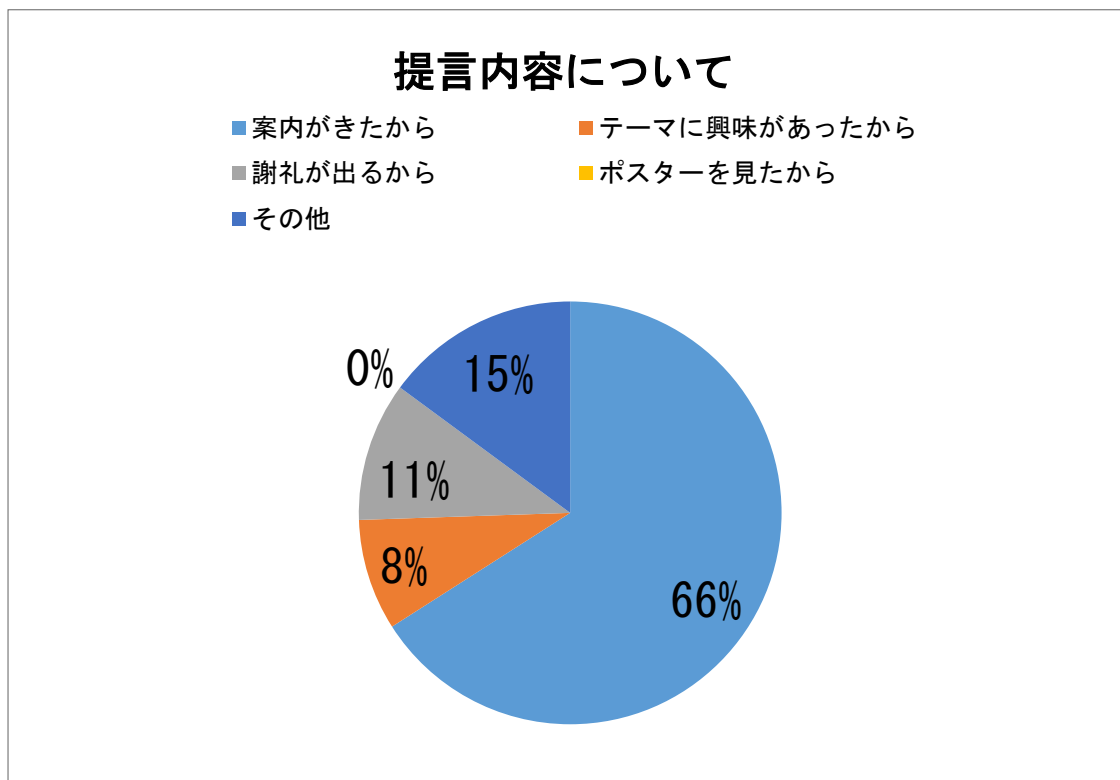
- 話しやすい方法だった
- 最初はなかなか言葉が出にくかった。
- 話しづらかった
- 時間が短かった
- 時間はちょうど良かった
- 時間が長かった
- テーブルの人数が多いと感じた
- テーブルの人数はちょうど良かった
- テーブルの人数はが少ないと感じた
- テーブルコーディネートがスムーズだった
- テーブルコーディネートカに問題があった
- その他



その他

問 4、なぜ、今回市民討議会に参加しようと思いましたか。※複数回答可

□案内がきたから 31人 □テーマに興味があったから 4名 □謝礼が出るから 5人
□ポスターを見たから 0人 □その他 7人

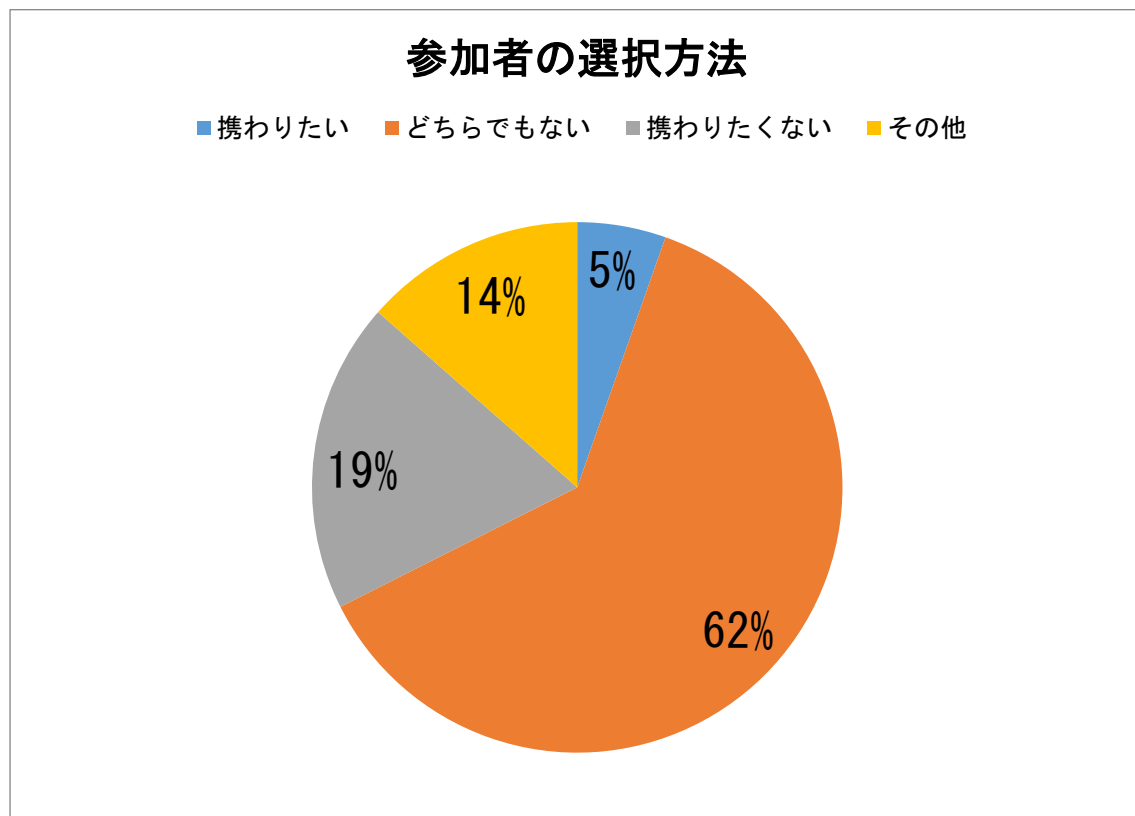


その他

- ・実行委員会と JC メンバーの方々がご尽力されているので
- ・脳の活性化の為
- ・自分が住む地域での活動でしたので、中身に興味があった為
- ・今まで千歳についてあまり関わったことが無かったので、積極的に意見交換をしたいと思った
- ・今の子供たちの考え方、将来に対して、どの様に考えているか知りたい
- ・千歳の市民が考えていることを知りたかった為

問5、千歳市民実行委員会の運営に携わりたいと思いますか？

□携わりたい 2人 □どちらでもない 23人 □携わりたくない 7人 □その他 5人



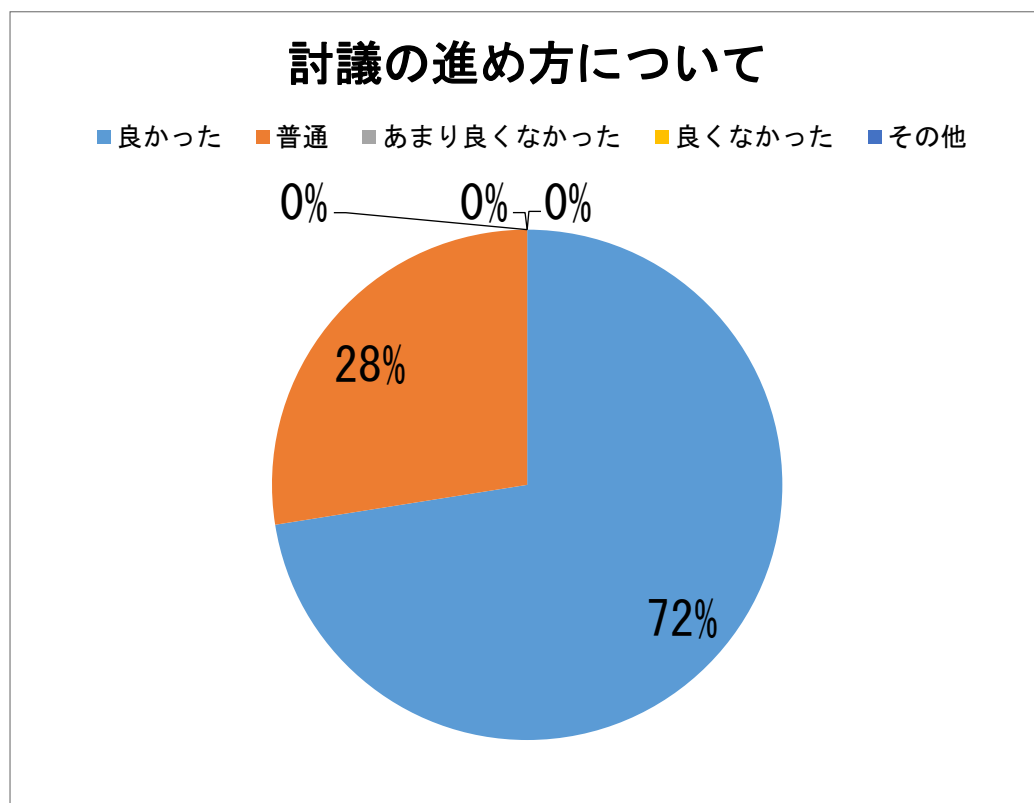
その他

- ・子供が小さいので
- ・時間的余裕が無いので
- ・機会があれば
- ・携わっていきたい
- ・転勤族の為、携わりが難しいと思う

問6、テーブルコーディネーターのグループ討議の進め方はいかがでしたか。

□良かった 29人 □普通 11人 □あまり良くなかった 0人 □良くなかった 0人

□その他 0人

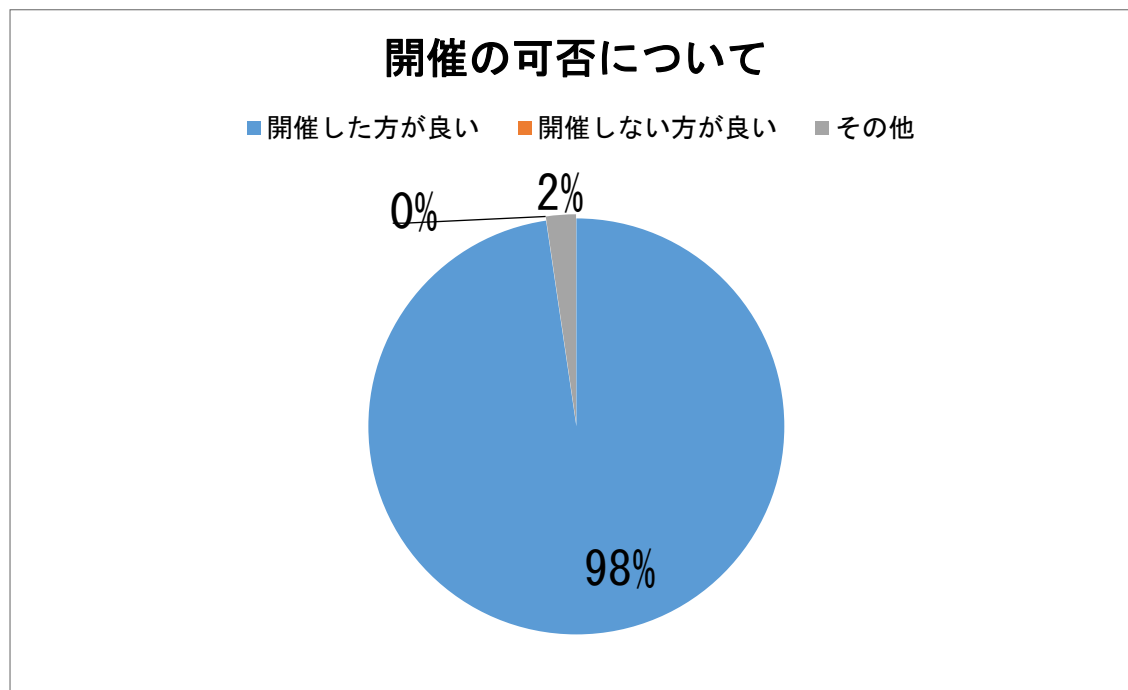


その他

- ・感じは良い方でした

問7、今後も、「千歳市民討議会」を開催した方が良いと思いますか？

□開催した方が良い 42人 □開催しない方が良い 0人 □その他 1人



その他

- ・Hグループのまとめで、「自分たちの意識が変わった」と言っていました。そういう人達がいる限りは続けるべき

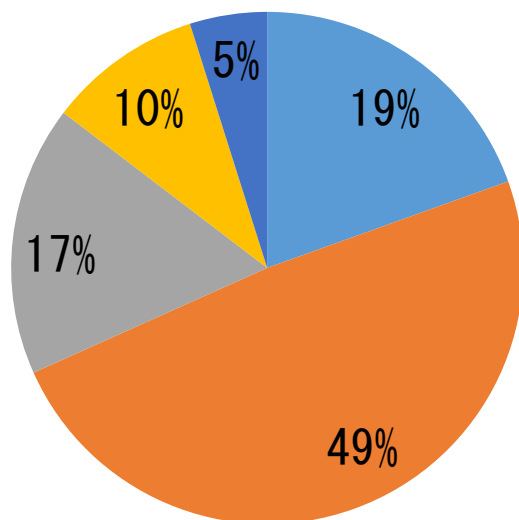
問8、討議をしていく中で、「まちづくり」に関してご自分がこれまでもっておられた考えに変化はありましたか

□自分の考えが参加前と比べて大きく変わった 8人 □どちらかという変わった 20人

□どちらかという変わらない 7人 □変化はなかった 4人 □その他 2人

考えの変化について

- 自分の考えが参加前と比べて大きく変わった
- どちらかという変わった
- どちらかという変わらない
- 変化はなかった
- その他



その他

- ・種々の意見が参考になった。意見により考え方が広がった
- ・大変良かった

問9、今後どのようなテーマが良いと思いますか

- ・子供に夢を持てるような明るい社会と、教育力をよろしく
- ・千歳市を盛り上げるには
- ・討議会で話し合われた事がどのように反映し、行政や地域に示されるかを判断しなくては決められない。
- ・地域の中でのお年寄りとの見守りと、かかわり合い
- ・老人クラブのあり方。存続の危機にあり、予算不足・高齢化
- ・市内の公園の利用・環境について
- ・市内滞在型(観光客)とする為にはどうしたら良いか
- ・地域の環境
- ・千歳ブランドの強化(地域創生・地域活性化等)
- ・高齢者に関するテーマ
- ・外人客に対するテーマ
- ・公園管理・冬期の管理について
- ・自然との共存について
- ・行政の施策に際して市民の意見をこのような形で聞くのが良い
- ・千歳市の発展・経済
- ・学生同士の議論会もあると良いと思う
- ・投票率 49%について
- ・同じで良いです
- ・福祉について
- ・行政サービスについて
- ・市の観光づくり
- ・食育、美育等
- ・シニアの活用
- ・全国 NO1 の住みよい千歳とするには
- ・若者(成人)に千歳の未来像について...
- ・地域のつながり。市の未来について。観光自然。魅力あふれるまちづくりについて。
- ・市民の防災

問10、その他お気づきの点がございましたらご記入お願い致します。

- ・昨年メンバーとして参加できませんでしたが、今年市民として参加させていただき、このような機会を考えさせられ討議することの意味や、市民のごくごく小さな集まりですが、実行委員と JC メンバーの皆様のお力で、大きなパワーにできる JC 千歳のメンバーは本当に素敵な集団だとやっぱり思いました。皆様、ご活躍様です。ありがとうございました。
- ・とても勉強になりました。
- ・司会は進行を急がすような印象を受けた。落ち着いた討議を妨げられなかったか？
- ・テーマ「子どもたちの未来について」だと少し抽象的で、もう少し具体的な方が話しやすいと思いました
- ・石川久雄様ありがとうございました。
- ・発表はとても苦手です
- ・運営統括ありがとうございました。私自身考えるきっかけとなりました。

- 講師の方々に、深く感謝いたします。
- 討議会参加希望後にでも、テーマを教えてほしかった。
- 地域も家庭も学校もそれぞれの役目を果たす。コメンテーター上手で聞きやすかったです。テーマを知らず参加したのですが、他の方とも話せてよかったです。スタッフの皆様お疲れさまでした。
- 私が考えていたテーマと違っていたので戸惑いました。いろんな事を話せたので参加してよかったです。ありがとうございました。
- 今の子供に将来に対して夢を持たせたい
- もう少し休憩が欲しかった
- 学力についての問題意識について、行政と家庭で差があるなあと思いました。学びの力より、学びたいと思わせるよう取り組みの必要があるかと思いました。夢や目標を持たせられるかかと…

4、資料

(1) ポスター

第5回千歳市民討議会ポスター

6/18日
〈開催時間〉
AM10:00～PM4:00
〈場所〉
千歳市公民館大集会室
千歳市真町176-3
※会場周辺に駐車場を用意しております。
※昼食はお弁当をご用意しております。

Voice of ちとせ

第5回 千歳市民討議会

【問わろふ1】
住民基本台帳より無作為抽出された市民が対象となります。参加される市民へは2,000円の謝礼が支給されます。
※交通費は支給されません。

【問わろふ2】
一般参加
※18歳以上を対象とする。
※事前にお申込み下さい。
一般参加者としての参加
「謝礼はありません」

定員80名

「Voice of ちとせ」市民討議会は、千歳市民を対象に無作為に抽出した市民に案内状を送っております。
今までまちづくりの活動へ参加する機会がなかった市民の「声なき声」を聴ける手法

★市民討議会とは…
無作為抽出により市民が集まり、まちづくりに関するテーマについて情報提供を受けた上で話し合い、そこで出された意見を集約してまちづくりに活かす市民参加手法のひとつであり、ドイツの住民自治手法であるブラーンスクスツェレを日本風にアレンジしたものです。それまで、意見を表明したくてもなかなか出来ないサラリーマンやパートの主婦、学生達の意見を叫び上げる事が最大の特長であります。
また、公聴会、タウンミーティング等の市民参加手法で、行政が出席依頼した各種団体や自治会役員などのような、いつも決まった顔ぶれが集まる事を避けられる為、公平性という観点で若男女問わず参加できる手法であります。

★市民意識の改革
■専門家からの情報提供
専門家や行政から討議の基礎となる情報を提供してもらう。基礎知識が無い人でも議論に公平に参加出来ます。
■討議・投票・合意
少人数で討議を行い、討議ごとにメンバーを変え、結論に投票を行う。議論を公平かつ深く行いやすく、最終的に結論を出す事が出来ます。
■提言の公開
結果を「提言書」としてまとめ、マスコミを通じて広く公開することで公正・公平・信頼性を確保出来ます。

[主催] 千歳市民討議会実行委員会 事務局 一般社団法人千歳青年会議所 [後援] 千歳市、北海道新聞千歳支局、千歳民報社、株式会社メディアコム

【お問い合わせ先】

千歳市民討議会実行委員会

事務局 一般社団法人千歳青年会議所

副実行委員長 木村 利貴 080-6089-2786

事務局 長 藤野 マキ 080-3237-3798

〒066-0042 千歳市東雲町3丁目2-6

千歳商工センター1F

HP <http://chitose-jc.com/>

mail mail@chitose-jc.com



(2) ポスター掲示依頼文

’17千実発第21号
平成29年4月吉日
各位
千歳市民討議会実行委員会
一般社団法人千歳青年会議所
理事長 三澤 計史

ポスター掲示のお願い

謹啓 青葉の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、日頃より千歳市民討議会実行委員会(一般社団法人千歳青年会議所)に対し、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

当実行委員会では、市民がまちづくりに対して積極的にご参加いただきたく、昨年に引き続き「第5回千歳市民討議会」を下記の日程で開催する運びとなりました。この討議会は、18歳以上の市民の中から2,500名の方を無作為で抽出させて頂き、参加をお願いし、まちづくりに対するご意見を頂くとともに、市民参加型のまちづくりへのきっかけづくりに繋がりたいと考えております。

つきましては、「第5回千歳市民討議会」のポスターを作成しましたので、本討議会の趣旨をご理解の上、ご掲示頂きますよう、お願い申し上げます。

謹白

記

1. 日 時：平成29年 6月18日(日) 09:00~16:30
2. 場 所：千歳市立千歳公民館 (千歳市スポーツセンターダイナックアリーナ隣)
住所 千歳市真町176番地の3 電話 0123-23-2740
3. その他：市民討議会終了後、ご掲示いただいておりますポスターについては、貴施設にて廃棄いただけると幸いです。

以上

【お問い合わせ】

千歳市民討議会実行委員会／一般社団法人千歳青年会議所
木村 利貴 携帯：080-6099-2786
藤野 マキ 携帯：080-3237-3798

(3) 開催のご案内

‘17千実発第20号
平成29年4月吉日
千歳市民の皆様へ
千歳市民討議会実行委員会
実行委員長 三澤 計史

Voice of ちとせ 第5回千歳市民討議会 「みんなで話そう！未来のちとせ」参加のお願い

謹啓 青葉の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。突然のお手紙で大変失礼致します。

さて、千歳市民討議会実行委員会では市民参加によるまちづくりを実現するため、平成25年より「千歳市民討議会」を開催しており、本年も来たる6月18日開催する運びとなりました。この討議会は、18歳以上の千歳市民の中から2,500名の方を無作為で抽出させて頂き、参加をお願いするものです。

無作為で抽出された市民の皆様にご参加頂き、まちづくりに対するご意見を頂くことで、まちづくりへの市民参加のきっかけづくりに繋がりたいと考えております。また、市民討議会で皆様から頂いたご意見を集約し、提言書として行政に提出いたします。

つきましては、貴方を無作為抽出により選出させて頂きましたので、何とぞ本討議会の趣旨をご理解の上、ご参加下さいますようお願い申し上げます。尚、決して堅苦しい会ではございませんので、お気軽にご参加下さいますようお願い申し上げます。

謹白

記

1. 日 時：平成29年6月18日（日）10：00～16：00 受付開始9：30から
 2. 場 所：千歳市市立千歳公民館 2階大集会室
住所 千歳市真町176-3 ※千歳市スポーツセンター隣(ダイナックスアリーナ)
電話 0123-23-2740 ※駐車場有り
 3. 謝 礼：2,000円をお支払いさせていただきます。 ※交通費は各自ご負担になります。
※ 参加謝礼金は当日のプログラムに全て参加された方にお支払いさせていただきます。
遅参し半日以上参加できなかった方、または体調不良などやむを得ない理由を除き途中でお帰りになる方にはお支払い出来ませんのでご了承ください。
 4. 募集人数：80名とし、参加を承諾された方が多数となった場合は抽選とさせていただきます。
 5. その他：当日は、昼食を用意致します。 飲み物は各自ご用意願います。自動販売機は御座います。
お子様をお連れになる場合、お子様分の昼食は用意出来ませんので参加者で持参してください。
 6. 参加の確認
参加の場合 ⇒ 承諾ハガキの送付（別添様式）
※お手順をお掛けしますが、別添承諾書に必要事項をご記入の上、平成29年4月30日（月）までに返送下さいますようお願い申し上げます。
- 以上
【お問い合わせ先】

千歳市民討議会実行委員会／一般社団法人千歳青年会議所
事務局 木村 利貴 携帯：080-6099-2786
藤野 マキ 携帯 080-3237-3798

(4) 参加決定通知書

’17千実発第43号
平成29年5月吉日
参加応募者 各位
千歳市民討議会実行委員会
実行委員長 三澤 計史

Voice of ちとせ 第5回千歳市民討議会 「みんなで話そう！ちとせの未来」参加決定通知書

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度は、第5回千歳市民討議会へご応募いただき誠にありがとうございました。
つきましては、下記の通り千歳市民討議会を開催することが決定致しましたのでご案内申し上げます。尚、ご不明な点などございましたらお気軽にお申し付け下さいませ。当日のご参加を心よりお待ちしております。
敬具

1. 日 時：平成29年6月18日（日）10：00～16：00（受付開始：9：30から）
2. 場 所：千歳市立千歳公民館2階大集会室（千歳スポーツセンターダイナックスアリーナ隣）
住所 千歳市真町176-3 電話 0123-23-2740 ※案内図は別紙を御覧ください。
3. その他：昼食は弁当をご用意しております。お飲み物は各自ご持参下さい。お子様をお連れになる場合はお子様分の昼食は用意出来ませんので参加者で持参してください。

※本参加決定通知書及び領収書は住所、氏名をご記入し捺印の上、お手数ですが当日ご持参下さい。
※最終確認として、市民討議会開催までに参加承諾書にご記入頂いた電話番号に事前確認を入れさせていただきます。
※参加謝礼金は当日のプログラムに全て参加された方にお支払いさせていただきます。
体調不良などやむを得ない理由を除き、途中でお帰りになる方にはお支払い出来ませんのでご了承ください。
【お問い合わせ先】

千歳市民討議会実行委員会／一般社団法人千歳青年会議所
事務局 木村 利貴 携帯：080-6099-2786
藤野 マキ 携帯：080-3237-3798

領 収 書
千歳市民討議会実行委員会 （一般社団法人千歳青年会議所） 様

金額 ￥ 2,000 ー

但し 第5回千歳市民討議会の参加の謝礼金として

住所
名前

印

(5) 広報掲載記事

広報資料（報告記事） 千歳民報記事

ボイス・オブ・ちとせ 市民討議会

教育の現状に意見交換



市民の声をまちづくりに生かすための取り組み「ボイス・オブ・ちとせ 第5回千歳市民討議会」（同実行委主催）が18日、

真町の千歳公民館で開かれた。市民ら約60人が参加。「千歳市における子供たちの教育の現状」をテーマに意見を交わした。

参加者が特定の関心事や考え方を持つ層に偏らないよう事前にテーマを知らせず、住民基本台帳から20歳以上の市民を無作為に抽出して参加を呼び掛けた。

グループで討議を交わす参加者たち

討議は5、6人ずつのグループに分かれて行われ、参加者たちは市の教育の課題について自由に意見を出し合った。集まった意見は実行委が提言書にまとめて市に提出する。

「子供たちの未来」ざっくばらんに 千歳市民討議会に43人



話し合った結果を発表する参加者

と、地域住民や商店主らでつくる実行委が主催した。今年で16回目を数える。延長約300分のガーデニングラリーに、36カ所の

ミニ店舗を設けた。雑貨販売やわたあめ、のり、おにぎりなど、40店も軒を連ねた。来場者は、フリーマーケットで掘り出し物を見つけた。

ると、店主との値段交渉を楽しんだ。会場にはステージが設けられ、9組が弾き語りやダンスを披露し、お祭りムードを盛り上げた。

来場した恵み野小6年の横尾侑那さん(11)は「屋台がいっぱいあって毎年楽しい」とかき氷を食べながら話した。(池田大地)

ループごとに約2時間話し合い、結果を横造紙にまとめて発表した。地域と学校の絆を強め、児童生徒を見

守るボランティア活動を広げるため「父母だけでなく、地域住民も学校参観をできるようにしてはどうか」な

どの意見が出た。柏陽1の主婦志藤千恵子さん(72)は「いろんな人と話し合うのは予想以上に面白かった。今後も地域の課題に目を向けていきたい」と話した。実行委は今後、議論の結果に基づいてまちづくりの提言書を作り、市に提出する。(酒井聡平)

【千歳】まちづくりについて市民がざっくばらんに話し合う「ボイス・オブ・ちとせ 千歳市民討議会」が18日、千歳公民館で開かれた。

【千歳】まちづくりについて市民がざっくばらんに話し合う「ボイス・オブ・ちとせ 千歳市民討議会」が18日、千歳公民館で開かれた。テーマは「子供たちの未来について」。出席者はク

会議所などで行われる実行委が毎年開催し、今年で5回目。無作為抽出の市民2500人に参加依頼書を送るなどして出席者を募り、43人が応じた。

テーマは「子供たちの未来について」。出席者はク

会議所などで行われる実行委が毎年開催し、今年で5回目。無作為抽出の市民2500人に参加依頼書を送るなどして出席者を募り、43人が応じた。



あなたの声がちとせの未来をつくる「voice of ちとせ」第5回千歳市民討議会」が6月18日、千歳公民館大集会室を会場に開かれました。主催は、千歳青年会議所会員と千歳市民有志で組織する千歳市民討議会実行委員会（三澤計史実行委員長）。約60人の市民が参加して、「千歳市における子供たちの教育の現状」をテーマに議論が行われました。

ちとせの未来をつくる市民の声 テーマは教育

voice of ちとせ
第5回千歳市民討議会

討議会は、テーマを知らせず住民基本台帳から無作為に抽出された市民に参加を依頼。当日、三澤委員長は「地域に住まう皆様が地域における課題や問題点を一番に理解しており、またこのまちが住み良くなることを願っていることと違います。本討議会で抽出されたご意見は、行政機関や他のまちづくり団体と共有していきます」と挨拶。討議は5、6人の



グループに分かれて行われ、討議終了後は各グループの代表者が意見を発表し、投票が行われました。

今回は、現在の教育における問題点を洗い出し、その解決策として「地域」「家庭」「学校」ではそれぞれ、何ができるのかについて議論。投票数が多かった意見は以下の通りです。



◆地域
町内会主催でもものづくり体験行事を行う

◆家庭
義務教育の完全無償化、スポーツなど諸経費の無償化

◆学校
互いを認め互いを助ける意見は後日まとめられ、実行委から市に提出される予定です。

（編集部 秋本）

(6) 当日の様子

事業名	Voice of ちとせ 第5回千歳市民討議会 ～みんなで話そう！ちとせの未来～
開催日時	2017年6月18日(日)
開催場所	千歳公民館 大集会室
市民討議会参加者	43名(途中退席1名)
時間	
10:00	<p>開会宣言</p> 
10:01	<p>実行委員長挨拶</p> 
10:10	<p>趣旨説明・市民討議会説明</p> 
10:30	<p>情報提供</p> 



11:25

午前討議



13:15

午後討議



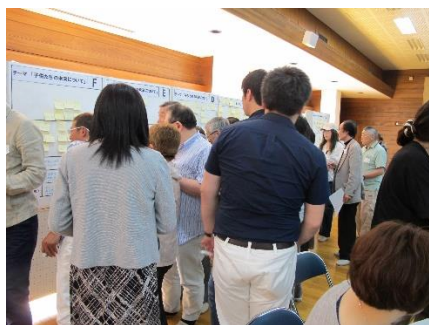
14:40

発表



14:50

投票



15:20

御礼の言葉



15:30

投票結果発表



15:50

記念撮影



16:00

閉会宣言

(7) 千歳市民討議会実行委員会諸会議一覧

第1回実行委員会

2017年1月30日(月) 18:30~19:30 千歳商工センター

- ・自己紹介
- ・第5回市民討議会の方向性について
- ・市民討議会実行委員会の今後のスケジュールについて
- ・討議テーマの選定について

第2回実行委員会

2017年2月6日(月) 19:00~20:00 千歳商工センター

- ・住民基本台帳の謄写並びにについて
- ・ポスター広報活動について
- ・市民討議会実行委員会の今後のスケジュールについて
- ・討議テーマの選定について

第3回実行委員会

2017年2月20日(月) 19:00~20:00 千歳商工センター

- ・ポスター等掲示物について
- ・部会会議
- ・討議テーマの選定について

第4回実行委員会

2017年2月27日(月) 19:00~20:30 千歳商工センター

- ・部会会議報告
- ・部会会議
- ・討議テーマの選定について

第5回実行委員会

2017年3月7日(火) 19:00~20:00 千歳商工センター

- ・住民基本台帳謄写方法について
- ・ポスター等掲示物について
- ・部会での活動について
- ・討議テーマの選定

第6回実行委員会

2017年3月20日(月) 18:00~19:30 千歳商工センター

- ・住民基本台帳入力担当割り
- ・部会会議報告
- ・討議テーマの決定

第7回実行委員会

2017年4月3日（月） 19:00~20:30 千歳商工センター

- ・進行状況の確認
- ・ポスター配布担当割り
- ・住民基本台帳閲覧謄写の日程調整

第8回実行委員会

2017年4月17日（月） 19:00~20:00 千歳商工センター

- ・部会会議報告
- ・住民基本台帳謄写状況について確認
- ・発送作業について

第9回実行委員会

2017年4月24日（月） 19:00~20:00 千歳商工センター

- ・広報活動について（Facebook、千歳青年会議所ホームページ掲載、ニュースリリース）
- ・市民討議会参加依頼書送付準備

第10回実行委員会

2017年5月10日（木） 19:00~20:30 千歳商工センター

- ・ポスター配布・広報活動状況について
- ・返信確認
- ・市民討議会備品資料作成準備

第11回実行委員会

2017年5月15日（月） 19:30~20:30 千歳商工センター

- ・参加者確認
- ・本年度予算について

第12回実行委員会

2017年5月29日（月） 19:00~20:00 千歳商工センター

- ・市民討議会当日の役割分担について

第13回実行委員会

2017年6月12日（月） 19:00~20:00 千歳商工センター

- ・模擬討議
- ・市民討議会資料作成・備品準備

第14回実行委員会

2017年7月3日（月） 19:30~20:30 千歳商工センター

- ・第5回市民討議会結果について報告・意見交換
- ・リバーシティ・プロジェクト出店について

第15回実行委員会

2017年7月17日（月） 19:30~20:30 千歳商工センター

- ・ 討議結果まとめ
- ・ リバーシティ・プロジェクト出店について
- ・ 千歳青年会議所10月例会について

第16回実行委員会

2017年8月17日（木） 19:30~20:30 千歳商工センター

- ・ リバーシティ・プロジェクト出店最終確認
- ・ 千歳青年会議所10月例会について

第17回実行委員会

2017年8月21日（月） 19:30~20:30 千歳商工センター

- ・ リバーシティ・プロジェクト出店スケジュール・出品品目確認

第18回実行委員会

2017年9月11日（月） 19:30~20:30 千歳商工センター

- ・ 予算部会よりリバーシティ・プロジェクト売り上げ報告
- ・ 今後の活動について
- ・ 千歳青年会議所10月例会について

第19回実行委員会

2017年9月25日（月） 19:30~20:30 千歳商工センター

- ・ 提言書作成スケジュールについて
- ・ 千歳青年会議所10月例会について最終確認

第20回実行委員会

2017年10月16日（月） 19:30~20:30 千歳商工センター

- ・ 提言書について
- ・ 提言書冊子案について

第21回実行委員会

2017年10月30日（月） 19:30~20:30 千歳商工センター

- ・ 提言書作成
- ・ 製本スケジュール
- ・ 2018年度活動について

おわりに

まずは、本年で第5回目となる市民討議会も、沢山の方に支えられ無事終了することが出来ましたことを、心より感謝申し上げます。また、ご参加いただいた市民の皆さま、またご協力いただいた関係者・関係諸団体の皆さまには、格別のご高配を賜り、誠に感謝申し上げます。

今回、私たちは、千歳市特有の問題点を抽出し、その中で特に義務教育の問題点に目を向けました。さらにそこから地域・家庭・学校の3つの角度から討議していただきました。そしてそのまとめから本報告書の作成に至り、特に声なき声をまとめた提言を市・行政に届けるべく製本する運びとなりました。

千歳市の小中学生の学力は他の市町村に比べ低く、更に体力面でも同様という厳しい状況にあります。我々市民討議会実行委員会でこの学力の問題について検証した結果、これは学校教育の在り方のみならず、普段の生活からの影響も十分に有り得るという結論に至り、こちらを今回の討議テーマとさせていただきました。そして市民討議会当日ご参加下さった43名の市民の皆様から建設的なご意見をいただき、徐々に課題、そして我々がすべきことが見えて来たのではないかと思います。

今後の千歳市を、明るい豊かな社会にするのは今の子どもたちであり、それを支えるのは今の我々大人たちです。子供たちの可能性を伸ばすためには、千歳市民全員の参画であり、団結力であることも今回の討議で見えてきました。明日の「千歳ブランド」を担う子供たちのために、まずは我々大人たちが動くことが重要ではないかと考えます。

結びに、我々の住まう千歳市が、もっと明るくさらに住みよいまちにするために、多数決で反映された意見のみならず、この市民討議会を通じて「声なき声」「小さな声」を抽出する場を提供すること、さらにそこで得た貴重な声を届け、市政に強い影響力が持てるミニ・パブリックスを形成することが必要なのではないでしょうか。

千歳市民討議会実行委員会 副実行委員長
一般社団法人千歳青年会議所 市民のまちづくり推進委員会 委員長
木村 利貴

2017年度

～Voice of ちとせ～「第5回千歳市民討議会」

実施報告書

平成29年11月発行

編集・発行	千歳市民討議会実行委員会
事務局	一般社団法人千歳青年会議所
〒066-0042	千歳市東雲町三丁目2番地の6 (千歳商工センター1F)
電話	0123-24-6868
FAX	0123-24-6868